

たけみずわけじんじやしんかん まつだてい
「武水別神社神官 松田邸」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（建造物） 平成 15 年 2 月 28 日
- 所 在 地 千曲市八幡 3, 033 番地 1 ほか
- 所 有 者 個人・千曲市（松田家より千曲市へ寄贈）
- 概 要 寛政 3 年（1791）以前の建物
 主屋、天神地祇社、御霊屋、西の土蔵
 寛政 3 年から幕末期の建物
 主屋の齋館接続部分、齋館、長屋門、大門の塀、表門、味噌蔵、隠居屋
 明治期の建物
 新座敷、料理の間、裏の長屋、北の蔵、おたや
- 公 開 整備中のため非公開、平成 26 年度以降公開予定

武水別神社神官の松田家は、近世初頭から八幡宮の神主を務める家柄です。松田家には近世の神社経営に関する貴重な資料が多数保存されています。

敷地は、間口 51 間（約 93m）、奥行き 40 間（約 73m）の規模で、四方に土塁を築いています。また、近代までは周囲に堀が巡らされていました。このような屋敷の構えは、中世の居館と推定されます。明治前期には敷地の東南隅を八幡村役場として提供し、堀の大半は昭和中期以降の道路拡幅等によって埋められてしまいましたが、それ以外はほぼ近世の形状を保っています。

松田邸は、神官の住居として県内で屈指の屋敷構えを持ち、往時の屋敷環境のほとんどが保たれていて貴重な遺構です。

千曲市では、平成 17 年度から平成 25 年度の計画で建物等を整備し、平成 26 年度から博物館として広く公開の予定です。

